

AID出生者のドナー情報を得る権利

近年の生殖医療の進歩は著しく、それともなあって家族づくりの形も多様になりつつあります。

こうした生殖医療をとりまく現状の中で出てくる問題を、専門家や一般の人と議論する場として、本研究会をシリーズで開催することになりました。

第1回目は「AID出生者のドナー情報を得る権利」に関する各国の状況についての報告の後、参加者とAID出生者の出自をめぐる問題について議論したいと思います。



報告者

・久慈直昭（東京医科大学医学部 教授）

「ドイツ・イギリス・ベルギーの状況」

・仙波由加里（お茶の水女子大学 ジェンダー研究所 特任リサーチフェロー）

「英国・オランダ・ドイツ・米国の状況」

日時：2016年6月8日（水）18:30-20:30

場所：お茶の水女子大学人間文化創成科学研究科棟 408 教室

（<http://www2.igs.ocha.ac.jp/access/> ジェンダー研究所と同じフロアです）